

報道機関 各位

AI 時代に「幸せ」をどう見つける？ 岐阜大学シンポジウム・GU-GLOCAL シンポジウム 2026 『幸せの見つけ方』を開催します

岐阜大学グローバル推進機構は、下記のとおりシンポジウムを開催します。

生成 AI や SNS の普及により、知りたいことの答えは誰でもすぐに手に入るようになりました。その一方で、情報を見極め、選択する力は、これまで以上に求められています。また、グローバル化の進展により、多様な文化や価値観と向き合う機会も増えています。こうした社会の変化の中で「何を大切に生きていくのか」「どのように学び、働き、社会と関わるのか」を自ら考え、選び続けることが重要になっています。

本シンポジウムでは、日本の経済・企業研究の第一人者として知られ、著書『シン・日本の経営 悲観バイアスを排す』で注目を集める米カリフォルニア大学サンディエゴ校教授のウリケ シェーデ氏を迎えます。シェーデ氏には、欧米と日本を往来しながら研究を続けてきた経験をもとに、各国の価値観の違いなどについて講演いただきます。

さらに、「生きがい」を世界に発信してきた脳科学者・文筆家で本学客員教授の茂木健一郎氏、マレーシア出身の研究者として本学の国際展開を牽引するリム リーフ副学長を交え、「幸せ」をキーワードに、AI 時代の学び方・働き方、異文化理解、自分で選ぶ力について議論します。

本シンポジウムは、高校生や大学生をはじめ、地域の皆さまにも広く開かれた機会として開催します。つきましては、当日の取材についてよろしくお取りはからい願います。

記

1. テーマ:岐阜大学シンポジウム・GU-GLOCAL シンポジウム 2026

幸せの見つけ方—AI 時代に、自分で選ぶ力と世界とつながる力を育てる—

2. 日 時:2026 年 7 月 27 日(月) 16 時 30 分～18時(16 時受付開始)

3. 場 所:岐阜大学講堂(岐阜市柳戸1-1)

4. 登壇者:ウリケ シェーデ(カリフォルニア大学サンディエゴ校教授)

茂木 健一郎(脳科学者/文筆家/岐阜大学客員教授)

リム リーフ(岐阜大学副学長)

以上

本件は「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想のうち下記を推進するものです。



「ぎふのミ・ラ・イ・エ」構想:

<https://www.gifu-u.ac.jp/about/aims/gifu.miraie.html>



岐阜大学は国立大学法人東海国立大学機構が運営する国立大学です。



東海国立大学機構 HP: <https://www.thers.ac.jp/>

問い合わせ先

国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学

学務部国際事業課国際総務係 前田

TEL: 058-293-3351 E-mail: glocal@t.gifu-u.ac.jp

ウリケシエーデ

米カリフォルニア大学サンディエゴ校グローバル政策・戦略大学院教授



Dr. Ulrike Schaede

幸せの見つけ方

— AI時代に、自分で選ぶ力と世界とつながる力を育てる —

AI時代、

どう生きる？

「幸せ」をキーワードに、
これからの学び・働き方・選び方を考える。社会が大きく変わる今、
将来に迷うのは当たり前。異文化・AI・意思決定をテーマに、
自分らしい選択のヒントを探ります。

茂木健一郎

脳科学者・文筆家・岐阜大学客員教授



Dr. Ken Mogi

岐阜大学シンポジウム GU-GLOCAL シンポジウム 2026

7.27月

16:30 → 18:00

無料

対面講座：岐阜大学講堂（開場 16:00）

オンライン同時配信@Glocal Lesson

対面講座をお申し込みの方

※申込みには Glocal Lesson への無料会員登録が必要です



オンラインで視聴される方

※申込みには Glocal Lesson への無料会員登録が必要です



【主催】 岐阜大学 グローカル推進機構

【後援】 岐阜県

MAKE NEW STANDARDS.
東海国立
大学機構

岐阜大学

Speakers



ウリケ シェーデ 米カリフォルニア大学サンディエゴ校グローバル政策・戦略大学院教授

Japan Forum for Innovation and Technology (JFIT) ディレクター。IGPI グループ・アドバイザーボードメンバー、三菱総合研究所「未来共創イニシアティブ (ICF)」フェロー兼サポーター、経済産業研究所 (RIETI) フェロー、Journal of the Japanese and International Economies 副編集長などを務める。

専門は、日本企業の戦略、経営文化、コーポレートガバナンス、雇用、製造業、デジタル経済におけるイノベーションなど。ボン大学およびマールブルク大学にて修士号、博士号を取得。米ハーバード・ビジネススクール、スタンフォード大学、UCバークレー・ハース経営大学院、一橋大学などで客員教授・研究員を務め、日本銀行、開発銀行、大蔵省、経済産業省の研究機関等にも在籍。日本には通算 9 年以上滞在。

著書に、第 37 回大平正芳記念賞を受賞した The Business Reinvention of Japan (Stanford University Press)、同書の日本語版『再興 THE KAISHA 日本のビジネス・リインベンション』、『シン・日本の経営：悲観バイアスを排す』(ともに日経 BP 日本経済新聞出版) など多数。ドイツ語、英語、日本語の 3 か国語に通じる。



茂木 健一郎 脳科学者・文筆家・岐阜大学客員教授

ソニーコンピュータサイエンス研究所上級研究員。屋久島おおぞら高校校長。東京大学大学院特任教授 (共創研究室、Collective Intelligence Research Laboratory)。東京大学大学院客員教授 (広域科学専攻)。岐阜大学客員教授。Kyutech ARISE 顧問。イマジン大学学長。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了、理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て、現職。脳活動からの意識の起源の究明に取り組む。

2005 年、『脳と仮想』(新潮社) で第 4 回小林秀雄賞を受賞。2009 年、『今、ここからすべての場所へ』(筑摩書房) で第 12 回桑原武夫学芸賞を受賞。近著に『クオリアと人工意識』(講談社)。

IKIGAI に関する英語の著作が、世界 58 カ国、32 の言語で翻訳出版される。2022 年 4 月には、二冊目の英語の著作 The Way of Nagomi (『和みの道』) が出版された。IKIGAI のドイツ語版は、2024 年、ドイツのノンフィクション部門で累計 38 週ベストセラー 1 位を記録し、年間でもベストセラー 1 位、社会現象となる。2025 年も、ベストセラー上位を継続し、IKIGAI のドイツ語版は、2024 年、2025 年の二年連続、ノンフィクション部門のベストセラー 1 位となった。2025 年 9 月、三冊目の英語の著作、Stoicism をテーマにした本、Think like a stoic がイギリスの出版社から刊行された。



リム リーフ 岐阜大学副学長国際展開担当

東海国立大学機構理事／岐阜大学副学長 (国際展開・多様性・ジェンダー (男女共同参画) (副)・人権・図書館 (副) 担当)／岐阜大学工学部教授。1975 年マレーシア出身。マレーシア国民大学理工学部卒業後、2002 年に岐阜大学大学院工学研究科博士前期課程修了。2004 年に岐阜大学工学部の助手に着任したことを契機に、同博士後期課程を離れる。研究と教育に従事する中で実績を積み、2007 年に名古屋大学にて博士 (工学) の学位を取得。その後、岐阜大学工学部准教授を経て、2018 年に教授に就任。2024 年より副学長を務める。専門は分離分析化学、環境分析、多孔性材料。

2008 年、中部分析化学奨励賞を受賞。2009 年、イオンクロマトグラフィー奨励賞を受賞。2014 年、クロマトグラフィー科学会奨励賞を受賞。2015 年、東海化学工業会賞を受賞。2022 年、日本分析化学会女性 Analyst 賞を受賞。クロマトグラフィー科学会理事他、NHK 中部地方放送番組審議会委員等も務めている。

Time Table

16:30 趣旨説明・講師紹介

16:35 特別講演

日本の隠れた強み — 新たなバランスとレジリエンスに向けて
The Hidden Strengths of Japan - Toward a New Balance and Resilience

講師 ウリケ シェーデ教授

17:05 鼎談 & 質疑応答

これからの AI 時代に求められる学び、働き方、多様な価値観について、海外から見た日本経済、生きがいの概念、国際的な学びの必要性の視点で掘り下げます。

鼎談者 ウリケ シェーデ教授、茂木健一郎客員教授、リム リーフ副学長

What's Glocal Lesson?

Glocal Lesson は、グローバル人材の育成を目指す岐阜大学グローバル推進機構が配信・対面・リアルタイムで提供する学習プラットフォームです。日本や外国の文化や SDGs など様々な分野の教養講座で学ぶことで、視野を広げ、変化の速いグローバル社会に適応する力を養いませんか。



Contact

岐阜大学学務部国際事業課国際総務室
Address: 岐阜市柳戸 1-1 図書館 1F
Email: glocal@t.gifu-u.ac.jp